

## 今週（10月31日から11月4日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、31日が月末となった事で、一時的なレート低下が見られたものの、週を通して概ね落ち着いた展開となった。無担保コールO/N物は、週初31日は月末要因により調達サイドの参加者が減少した事で、レート水準が低下し、▲0.07～▲0.05%近辺での出会いが中心となった。1日以降は、大手行から堅調なビッドが入った事で若干持ち直し、▲0.06～▲0.05%近辺での出会いが中心となった。

ターム物は、ショートタームで▲0.065～▲0.055%近辺での引き合いが散見された。

日銀当座預金残高は、国債の発行や税・保険料揚げ、普通交付税の払いなどに加え、各種オペの影響により490～495兆円程度での推移となった。

### ●レポ市場

今週のGC T/Nの出会い水準は、概ね▲0.095～▲0.08%程度であった。

SCIは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は動意なく閑散なマーケットとなり、全ゾーンで横ばい圏での推移となった。

4日に実施された3M物入札は弱めの結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。

31日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でおファーされ、按分利回り較差+0.012%、平均利回り較差+0.014%とやや弱めの結果となった。

### ●CP市場

今週のCP発行市場は、鉄鋼等の業態が大型発行を実施したものの、全体の案件数が少なかった事から、発行額は伸びず、週間発行・償還総額共に2,000億円程度に留まった。市場残高は、週を通して26兆円台前半での推移となった。

発行レートについては、0%から若干のプラスでの出会いが中心となったが、発行残高の少ない銘柄では浅いマイナスでの出会いも見られた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/31 (月)	27,587.46	0.240	148.24	△ 0.062	△ 0.088	4,953,100
11/1 (火)	27,678.92	0.250	148.73	△ 0.057	△ 0.087	4,915,800
11/2 (水)	27,663.39	0.245	147.54	△ 0.055	△ 0.087	4,901,100
11/3 (木)						
11/4 (金)	27,199.74	0.250	148.25	△ 0.054	△ 0.085	4,913,400

# 来週（11月7日から11月11日）の短期金融市場動向

## ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
11/7 (月)		10Y物価連動 2,500億円 11/8発行			9月の米消費者信用残高
11/8 (火)	決定会合における主な意見(10月27・28日分 8:50) 10月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 9月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 9月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 9月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	交付税借入 13,000億円 11/18借入			
11/9 (水)	9月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 10月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)	TB6M 40,000億円 11/10発行	30Y 9,000億円 11/10発行		9月の米卸売売上高
11/10 (木)	10月のマネーストック(日銀 8:50) 9月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)	エネルギー 対策借入 6,500億円 11/21借入			10月の米消費者物価指数 10月の米財政収支
11/11 (金)	10月の企業物価指数(日銀 8:50)	TB3M 60,000億円 11/14発行	流動性供給 5,000億円 11/14発行		New York祝日(Veterans Day) 11月のミシガン大消費者信頼感指数速報 7-9月期の英GDP速報値

## ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
11/7 (月)	600	▲ 5,900	▲ 5,300	国債買入 国債補完 CP買入		700	13,200	7,900	TB3M発行▲60,000償還56,000
11/8 (火)	▲ 1,000	▲ 3,000	▲ 4,000		12,700 ▲ 200		0	▲ 4,000	10Y物価連動発行▲2,500
11/9 (水)	▲ 500	▲ 1,000	▲ 1,500	全店共通	▲ 10,300		▲ 10,300	▲ 11,800	
11/10 (木)	1,000	▲ 17,500	▲ 16,500				0	▲ 16,500	TB6M発行▲40,000償還31,800 30Y発行▲9,000
11/11 (金)	500	1,000	1,500				0	1,500	
週間合計	600	▲ 26,400	▲ 25,800	—	2,200	700	2,900	▲ 22,900	

11/7は日銀予想、11/8以降は当社予想

## ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場の無担保コールO/N物の加重平均レートは、引き続き▲0.05%前後が見込まれるが、積み終盤に向けて大手行を中心に積極的な調達が見られる可能性もあり、レート水準が上昇していく展開も予想される。債券レポGC O/N物は、積み最終日が近づき、資金ニーズが注目される。短国市場は、9日に6M物、11日に3M物の入札実施が予定されている。また、8日に実施が予想される短国買入オペは、1,000～5,000億円程度が見込まれる。CP市場は、10日にCP等買入オペが予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では、9日に9月の国際収支、11日に10月の企業物価指数、海外では、10日に10月の米消費者物価指数、11日に7-9月期の英GDP速報値などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよく読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入